

2013/9/2「こよみのページ」

よく降る。先週末からぐずついたお天気。季節の変わり目の典型。それにしても雨続き。週末にかけても晴れのマークなし。ばたばたと8月も過ぎ、いよいよ9月の始まり。今年も残り四ヶ月、年末まで一気に滑走。この7日は「白露」。さすがに夏服では少々ミスマッチな陽光加減。ところで、こよみのことは「こよみのページ」によく頼る。このサイトに出会ってもうずいぶん、初めて主宰者のお顔を知った。先週日経に寄稿されていた。みんなのためになるページに敬意。

2013/9/12 梨木神社の萩



何かと立て込みバタバタと時間がすぎてきた。9月もはや中旬、昨日今日はまた暑さがぶりかえしている。それでも秋の姿がみえる京都。午前中京都御苑近くで打合せがあった。帰り道、汗をぬぐいながら、梨木神社へ足をはこんで。まだ咲いていないんじゃないかと思ったけど、ちゃんと咲き始めていた萩。やはり京都はいい。

2013/9/20 中秋の名月



昨日は旧暦の8月15日、昔ながらの風習を踏襲して、朝に少々大がかりな法事。それも済んで、年内の法事はこれで終り。ほっと一息ついた夜、満月が東の空に浮かんだ。中秋の名月を杯に映してお酒を飲む。そういう習わしもあるらしい。十五夜と満月が重なった今年の次は、2021年になるとラジオで話していた。それも晴れなければ見られないわけで、昨夜は絶好の十五夜だった。

2013/9/26 今朝の「文化往来」

9月は何かと慌ただしく過ぎ、新聞もたまりがち。昨日の新聞と今日の朝刊をまとめて読む。JR北海道の組織の様が目に浮かび、「沈まぬ100円ショップ」記事の結び文にはにピントはずれを感じ、読み進んだ最終ページ、文化面。日経の文化面はけっこう秀逸、いつも必ず目をむける、右脇の「文化往来」にも。今朝の記事は「死刑囚の句集に賞、永山規夫の小説以来」。読み終えても新聞をとじなかった。記事から情景が浮かんだ、考えさせられた。人間の成長と生涯、可能性と限界……。記事の最後の部分を何度か読み返した。やるせなくもあり、神々しくもあり。